

学校だより

# ことぶき

水戸市立寿小学校  
令和7年8月27日  
児童数 555名

夢をもって 自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成

## 笑顔あふれる学校生活、再スタートです！

長かった夏休みも終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。思い思いに暑い夏を過ごし、成長した姿。その笑顔で学校が明るくなりました。

まだまだ暑い日が続きますが、気持ちを新たに、それぞれの目標に向かっていきいきと取り組み、夢を育てていってほしいと願っています。教職員一同、子供たちが安全に安心してのびのびと学校生活を送れるよう、引き続き、笑顔、夢、感動をキーワードに、力を合わせて取り組んでまいります。

さて、9月28日（日）には、寿地区集団避難・防災訓練を自治連との共催で実施します。いざという時に、子供たちが自分の命を守れるよう、そして周りの人々と共に助け合うことができるよう、防災意識を高めていきたいと思えます。実行委員の皆様はじめ保護者の皆様にもお世話になります。御協力よろしくお願いたします。

## 人権教育だより (チームワークで…7月のふれあい day から)

7月のふれあい day では、各学級で絵スチャージャーゲームを行いました。ゲームは、3・4人のグループになって、お題となる絵を、それぞれの記憶をたどって、ぴったりに表現するというもので、グループの協力度がとても重要視される内容でしたが、どの学級もわいわい盛り上がりながら楽しく活動することができていました。以下はその感想となります。

グループの人はとてもまじめでいいなと思った。自分はまじめ力がなかったけれど、グループの人ががんばってくれたので絵がかけた。グループで協力して取り組むことが大事だと思った。力を合わせると、一人でやることよりも、もっとできるようなうなることもあると学んだ。  
(6年 Aさん)

チームワークは大切でした。わたしのはんでも、あたたかいチームワークがありました。みんなのあたたかい言葉があるから、チームワークのいい絵ができたことを学習しました。  
(5年 Bさん)

チームで行うので楽しくできてよかったです。わからなかった人やよくおぼえている人がいて、「〇〇があった。」「何だっただろう。」とチームの人といろいろな話をしながら絵をかくことができました。  
(4年 Cさん)

みんなと協力して楽しくできました。「ここ見てきてね。」「すばらしかったね。」など、友達と話をしながらできたことがよかったです。  
(3年 Dさん)

みんなできょうりょくするとせいかくにできるのがすばらしいなと思った。  
(2年 Eさん)

<人権メッセージについて>  
夏休みの課題の一つであった「人権メッセージ」では、友達のことや家族のこと、日頃感じていることなど、様々な視点から、自分たちの生活や社会を見つめる作品が数多くありました。御協力ありがとうございました。  
<9月の人権教育>  
「多様性Ⅱ」として、県教育委員会からお借りしたビデオ視聴を通してLGBTsについて考えていきたいと思えます。実施後の感想等は次号でお伝えいたします。

友達と協力して絵をかくことができましたね。  
(1年 先生からのコメント)

### 生徒指導

## 【8・9月の生活目標】

◎ 気持ちのスイッチをオンにしよう。

- 身だしなみ (名札・シャツ・髪の毛・かかと)
- 身じたく (体操服・白衣)

### 【お願い】

○持ち物に名前を！○

先日は、三者面談に御足労いただきありがとうございました。また何か心配事がありましたら、御相談ください。

三者面談の際、昇降口前にあったものは、ほとんどが今年度の落とし物です。物を大切に思う気持ちを育むためにも、**持ち物に名前**の御記入をお願いいたします。

### 【お知らせ】

○インターネットの使い方について○

近年、SNSやオンラインゲームなどで、暴言や仲間外れ、課金、個人情報流出など、さまざまなインターネットトラブルが増加しています。そういったトラブルに巻き込まれないように、家庭でのルール作りやフィルタリングの設定などをよろしくお願いたします。

また、以下のリンクは、総務省のインターネットトラブル事例集です。実際の事例の解決策や解説がありますので、お子様とご一緒にやってみてください。

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)

### 【お知らせ】

ホームページ内のブログで、学校の日常や行事の様子を随時更新しています！ぜひご覧ください！

<https://www.magokoro.ed.jp/kotobuki-e/>

## 保健室から

8・9月の保健目標 夏を健康に過ごそう

長い夏休みが終わり、学校生活が再スタートしました。夏の疲れが出やすいこの時期、無理せず、体調管理を心がけてください。健康第一で、元気に過ごしましょう。

### 生活リズムを整えよう

長い夏休み、夜遅くまでおきていたり、生活リズムが乱れがちではなかったでしょうか？生活リズムが整わないと、体調も崩しやすくなります。早寝・早起き・朝ごはんを心がけましょう。

できているかな？  
早寝  
早起き  
朝ごはん

### 心が疲れていませんか？

新学期が始まり、ストレスを感じるお子さまもいるかもしれません。本校には、定期的にスクールカウンセラーの先生がいらしていますので、ぜひ御活用ください。また、教職員にもお気軽に御相談ください。気になることが大きくなる前の方がよいかもしれません。

# 学校保健安全委員会だより

令和7年7月14日  
水戸市立寿小学校



令和7年7月9日（水）、学校医の先生方、PTAの委員の皆さまに御出席いただき、第1回学校保健安全委員会が開催されました。保健・安全・食育・体育各部から本校の課題や指導内容等について報告を行った後、学校薬剤師の五十嵐淳先生より講話をいただきました。

## 各部からの報告



### ● 保健部

今年度の健康診断の結果、裸眼視力Aの児童は72.0%であった。県の平均は63.2%であり、本校は目によい生活ができている児童が多いことがうかがえる。

歯科では、虫歯は過去にあったが、治療が済んでいる児童の割合が高かった。その一方で、今年度の歯科健診では、歯垢の状態が「要治療」となっていたり、歯石を指摘されたりする児童が非常に多くなってしまった。外部講師を招いた歯科保健指導や健康タイムなどを活用しながら、家庭とも連携して指導にあたりたい。

### ● 体育部

今年度の体力テストの結果、A級とB級の児童が全体の47%であり、昨年度より約2%増加することができた。課題としては、「握力」と「ボール投げ」が挙げられる。これらの力を高めるために、サーキットトレーニングや的あて、ストラックアウトを行っていききたい。

今年度は、大学連携事業で、筑波大学と連携し、「健やかな体の育み」のテーマのもと、児童の学ぶ意欲や関心及び資質の向上、教員の授業力及び資質・能力の向上を目指していく。

### ● 安全部

4月に地震を想定した避難訓練、5月に不審者を想定した避難訓練を行った。避難後に整列して待つときの態度や職員の連携などが挙げられたので、改善していきたい。今後は、火事を想定した避難訓練を実施予定である。

通学班集会や1・3年生を対象とした交通安全教室を実施し、安全な登下校ができるよう努めている。

また、校内やグラウンド施設の危険箇所や故障等がないか、毎月1回全職員で点検し、修繕や専門機関への連絡を行っている。

### ● 食育部

本校は、残食率が多い傾向にある。おかずの残りは、平均約20%以上である。そこで、本校では、今年度から「もぐもぐタイム」を実施している。給食中にもぐもぐタイムの放送が流れると、5分間おしゃべりをしないで食べる。それにより、残食率が改善傾向にある。今後も継続して行い、成長期の子供たちが必要な栄養素が取れるよう支援していきたい。

また、様々な味の料理に慣れることができるよう家庭でも御協力いただきたい。



## 子供たちにおけるスマホの弊害

学校医 五十嵐 淳 先生

### 1 スマホ等の使用時間と学力の関係

小中学生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果、SNSや動画の視聴時間が長い子供ほど、正答率が低いという結果になりました。文部科学省によると、小中学生ともに「スマホを持っていてSNSや動画の視聴時間が30分未満」の子供の正答率が最も高く、「視聴時間が4時間以上」の子供に比べると、各教科で有意に高かったようです。

### 2 子供の視力低下はスマホが原因？

近年、子供の視力低下が進んでいます。2022年の学校保健統計調査によると、裸眼視力1.0未満の者の比率が過去最多となったようです。その要因の一つとして、スマホを長い時間見続けることが挙げられるのではないのでしょうか。

### 3 子供のインターネット利用率と利用時間

「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、6歳～9歳の91.4%が、10歳～12歳の97.2%がインターネットを利用していると回答しました。その平均利用時間は、6歳～9歳は約2時間9分、10歳～12歳は約3時間44分でした。

私の病院の待合室でも調査したところ、待ち時間に子供にスマホやモニターを見せて、診察まで待つお父さまが約63%いました。まれに、診察室の中に入ってきてスマホを凝視しているお父さまもいます。スマホとの上手な付き合い方を考えなければなりません。

子供のスマホ利用はメリットもありますが、デメリットも多くあります。子供をスマホ依存症にさせないためにも、家庭内でのスマホ使用のルールを決めることが大切ではないのでしょうか。スマホを一方的に取り上げるのではなく、お父さまと一緒に話し合っ、お互いが納得できるルールをつくりましょう。



## 出席者からの感想

- 子供と一緒にルールを決めて、時間とやり方を見直したいと思いました。
- スマホ依存は家庭でも気になっていました。ゲームができないとイライラしたりするので、制限をつけたり工夫はしていたつもりですが、お話を聞いてもう少し子供と話し合ってみようと思いました。
- 子供という前に自分自身も見直していきたいと思いました。スマホを手放す時間を作り、もっともっと子供たちとコミュニケーションをとる時間を作りたいです。

